



## 自転車の保管

皆様がよく利用しているシティ車は、通勤や通学などに毎日のように使われることが多い自転車です。日常的によく利用することから、乗り降りしやすい出入り口や玄関の近く、あるいは屋外の駐輪場に、自転車を鍵をかけそのまま置いてある光景をよく目にします。

そのような自転車はお手入れもおろそかになっているのか、自転車に汚れがこびりついています。

自転車にとっては雨がかからない乾燥した保管場所が一番よいのですが、そのような場所は中々ないと思います。

仕方なく屋外に保管される場合には、サイクルカバーやビニールシートの利用をおすすめします。雨や雪にさらされるとサビの原因となり、グリップやサドルなどの劣化が早く進みます。サイクルカバーやビニールシートを自転車にかけていても自転車は雨でぬれるのですが、何もカバーしない時と比べて、自転車はきれいな状態をキープします。

風の強い日など、サイクルカバーやビニールシートで自転車を覆っていると、風にあおられ自転車が倒れることがあるので注意も必要です。

保管状態がよくても、自転車を長い間、そのままにしているとタイヤの空気が抜けて、タイヤにつぶれるくせがつき、タイヤの性能が悪くなります。タイヤに空気を定期的にいれて保管することをおすすめします。

特に、寒冷地では水分が凍って部品の動きが悪くなることがあり、凍結を防ぐために暖かい場所で保管をしてください。

自転車を適切に保管すると、自転車が長持ちしますので、ぜひ、行ってください。



自転車流通研究会 TEL:03-6409-6922 FAX:03-6409-6868 E-MAIL:info@jbpi.or.jp

<http://www.jbpi.or.jp/9ki/>

空気いれチェックカレンダーは

<http://www.jbpi.or.jp/9ki/> からダウンロード

## 自転車の適切な保管を!

<自転車流通研究会 事務局>

一般財団法人自転車産業振興協会 事業部

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4階

電話：03-6409-6922 FAX：03-6409-6868

Eメール：<http://www.jbpi.or.jp/9ki/> のお問い合わせフォーム